



2026 年 8 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 MFS
代表者名 代表取締役 CEO 中山田 明
(コード番号：196A 東証グロース)
問い合わせ先 取締役 CFO 平山 亮
Tel. 03-5989-0575

**繰延税金資産の計上及び 2026 年 6 月期通期業績予想と実績値との差異
並びに通期個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、2026 年 6 月期第 4 四半期連結会計期間において下記の通り繰延税金資産の計上を行うこととし、また、2026 年 5 月 14 日に公表しました 2026 年 6 月期通期連結業績予想と本日発表の実績値との間に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。また、当社は個別業績予想の開示を省略しておりましたが、2026 年 6 月期（2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）の通期個別業績について、前期実績値との差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社及び当社の連結子会社における 2026 年 6 月期及び今後の業績動向・課税所得の見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討し、回収可能性が見込まれる部分として 2026 年 6 月期第 4 四半期連結会計期間において法人税等調整額（△は利益）を△95 百万円計上することとなりました。

2026 年 6 月期の連結業績への影響につきましては、本日発表の「2026 年 6 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。また、将来の業績動向等により繰延税金資産の回収可能性の見直しが必要となった場合には、その取崩しにより業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 業績予想と実績値との差異について

(1) 2026 年 6 月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,092	200	191	150	15.64
実績値 (B)	8,317	222	215	308	31.99
増減額 (B-A)	225	22	24	157	—
増減率 (%)	2.8	11.1	12.7	104.5	—
(ご参考) 前期実績 2025 年 6 月期	2,918	197	198	160	17.64

(注) 当連結会計年度より表示方法の変更を行ったため、前期実績の売上高及び営業利益は当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しております。

(2) 差異の理由

売上高につきましては、モゲチェック事業における「送客課金（審査申込時に売上認識）」から「実行課金（融資実行時に売上認識）」の移行による売上計上の後ろ倒しがあった一方、INVASE 事業における不動産売買モデルにおける仕入及び販売が好調に推移したことにより、8,317 百万円となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、モゲチェック事業における戦略的な広告宣伝費の抑制・メディアでの露出拡大による顧客獲得効率の上昇が奏功したとともに、INVASE 事業における営業活動の高度化・効率化推進に伴う黒字化により 222 百万円及び 215 百万円となり前回発表予想を上回りました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、期中に実施した減資による当期税負担額の減少や、当社グループにおける今後の業績見通しを踏まえた繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額（△は利益）△95 百万円により 308 百万円となりました。

3. 通期個別実績値と前期実績値との差異について

(1) 2026 年 6 月期通期個別実績と前期個別実績との差異 (2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A) (2025 年 6 月期)	2,315	254	275	229	25.24
当期実績 (B) (2026 年 6 月期)	1,983	405	427	487	50.51
増減額 (B-A)	△331	150	152	258	—
増減率 (%)	△14.3	59.3	55.3	112.7	—

(2) 差異の理由

売上高につきましては、モゲチェック事業における「送客課金（審査申込時に売上認識）」から「実行課金（融資実行時に売上認識）」の移行による売上計上の後ろ倒しにより前期実績を下回りました。

営業利益及び経常利益につきましては、モゲチェック事業における戦略的な広告宣伝費の抑制をはじめとした費用の抑制によるコスト効率向上が奏功し 405 百万円及び 427 百万円となり前期実績を上回りました。

また、当期純利益につきましては、期中に実施した減資による当期税負担額の減少や、当社における今後の業績見通しを踏まえた繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額（△は利益）△61 百万円により 487 百万円となりました。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 MFS IR お問い合わせ窓口 <https://ir.mortgagefss.jp/inquiry/>